

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	東書	書名	新しい数学3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題A』『章の問題B』、巻末には『補充の問題』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『九九表のきまりを見つけよう』など、『数学マイノート』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『デザインにひそむ数学』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『大切にしたい数学の学び方』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学についてのインタビューを取り上げた『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として、理科と関連した『球が斜面を転がる場面』などが掲載され、『教科関連マーク』が示されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『身長をくふうして求めてみよう』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統模様の『青海波』などを例示した、『数学のまど』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした『くじを先にひく?あとにひく?』などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容を課題とした『算数から数学へ』、『ちょっと確認』や、高校の学習内容を課題とした『数学のまど』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、標本を無作為に抽出する方法として、コンピューターの表計算ソフトの操作手順が『母集団から標本を取り出す方法について考えてみよう』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、学習のまつまりごとに学習のめあてが示され、『問』には『例』と似た型の問題に『◆』が示されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 問題解決の順序を例示した『身長をくふうして求めてみよう』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、既習内容を用いた取組を課題とした『比例と反比例の利用』など、『Q考えてみよう』や『Q調べてみよう』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、グラフや表を用いて説明し、解決を図る一連の流れを例示した『身長をくふうして求めてみよう』など『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題としたスケート場の貸出用の靴の問題など『章の問題』が掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題A・B』が掲載され、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『全ての生徒の色覚特性に適應するようにデザインしています。』『見やすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	大日本	書名	数学の世界3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『たしかめよう』、章の最後に『○章を振り返ろう』、巻末に各章に対応した問題『補充問題』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『みんなの記録と自分の記録を比べよう』など、『ノートの作り方』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『身の回りのマイナス』など、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『数学の世界へようこそ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『富士山が見える範囲を調べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学についてのインタビューを取り上げた『社会にリンク』のコーナーが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『みんなの記録と自分の記録を比べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『震源から何km離れているかな』などが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『みんなの記録と自分の記録を比べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統工芸品の『手まりの模様の秘密』などを例示した、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした『アーガイルチェックの模様』などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容を課題とした『思い出そう』などや、高校の学習内容を課題とした『高校ではどんな数学を学ぶのかな?』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、実生活につながるデータを処理するICT活用を例示した『どうやって認識しているの?』などが、『MATHFUL』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、その問題を学習したページが記載された『たしかめよう』や、補填的な問題を取り上げた『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 巻頭で学習時の問題発見、問題解決の流れが例示され、実践する課題として『75°の角度をつくらう』などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、話し合いや説明する活動を課題とした『学びにプラス』や、類題を課題とした『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、日常生活の生徒の疑問から問題発見を行い、図や表を用いるなどの問題解決の一連の流れを例示した『進行のようすを調べよう』などが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『データの分析』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後には『たしかめよう』、章の最後に『○章を振り返ろう』が設けられ、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	学図	書名	中学校数学3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『確かめよう』、章の最後に『○章のまとめの問題』、『○年の復習』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『正の数・負の数』の温度の問題など、『ノートの使い方』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『米は何粒?』など、『疑問を考えよう』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『さらなる数学へ』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『表現する力を身につけよう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学についてのインタビューを取り上げた巻頭の『数学の力』のコーナーが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『Q』で『数学的活動』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として社会科と関連した『時刻がもどる?』など、『深めよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『正の数・負の数の利用』などの『Q』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本独自の数学である『和算』などを例示した、『数学の歴史の話』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした正の数・負の数のたし算の問題などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容を課題とした『ふりかえり～算数から数学へ～』や、高校の学習内容を紹介した『高校へのかけ橋』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、論理的な思考の大切さを伝える課題として『基石を並べるサンプルプログラム』などを例示した、『プログラミングを体験してみよう』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、既習事項などを示した『ふりかえり』や、間違いやすい例を取り上げた『正しいかな?』などが掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習の流れを何段階かにわたって示した、『文字式の利用』などの『数学的活動』のコーナーが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、日常の生活や実社会でのことがらを課題とした『正の数・負の数の利用』の『Q』などが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、図から数式を求めたり、表から数式を求めたりする『震源までの距離は?』など、『深めよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『反応の速度はどのくらいかな?』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後に『確かめよう』、章の最後に『○章のまとめの問題』が掲載され、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しました。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅰ】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	教出	書名	中学数学3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題』、『学習のまとめ』、巻末に各章に対応した問題『補充の問題』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『目標は達成できる?』など、『工夫してノートを書こう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『ランドルト環』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『学習するにあたって』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『Q 目標を達成することはできるのかな?』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学についてのインタビューを取り上げた巻頭の『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『Q 目標を達成することはできるのかな?』などが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『素数ゼミ』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『正の数・負の数の活用』などの『Q』が掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本独自の数学である『薬師算』などを例示した、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした『立体の体積と表面積』の問題などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容を課題とした『学びのマップ』や、高校の学習内容を紹介した『ひろがる数学』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、標本と無作為抽出する方法の一つとして、コンピューターの表計算ソフトを利用する方法が、『標本調査とデータ活用』に掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、つまづきを防ぐ目的で取り上げた『○○を学習する前に』や、用語などを確認する『もどって確認』、『補充問題』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 巻頭で学習時に必要な『学習のプロセス』が示され、実践する問題として『Q 目標を達成することはできるのかな?』などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、学習のプロセスを意識して取り組む題材を取り上げた『Q 目標を達成することはできるのかな?』などが記載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、言葉や数・式・図・表・グラフなどを用いて問題解決の流れを例示した『板は何枚必要かな?』などが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『Let's Try』のコーナーが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題』『学習のまとめ』が掲載され、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	啓林館	書名	未来へひろがる数学3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○ 「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の中に『練習問題』、章の最後に『章末問題』、巻末に『もっと練習しよう』が設けられている。『自分から学ぼう編』に『力をつけよう』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『どちらが反比例の関係?』など、『ノートをくふうして、学習に役立てよう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『緊急地震速報』など、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『表現する力を身につけよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『説明しよう』や『話しあおう』などが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学について取り上げた『学びをいかそう』のコーナーに『社会見学に行こう』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『説明しよう』や『話しあおう』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として社会科と関連した『何時に電話しようかな?』など、『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『説明しよう』や『話しあおう』などが掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本の伝統模様の『市松模様』などを例示した、『数学ライブラリー』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした『ゆっくり落ちる紙の形や大きさは?』の問題などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、新しい学習に関連する既習内容を示した『ふりかえり』や、高校の学習内容を紹介した『学びをいかそう』の『発展』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、プログラミングの段階的な学習を課題とした『プログラミングで模様をつくろう』や『表計算ソフトを使って』などが掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、まとめや重要な視点が書かれているメモが示されている。振り返り学習を課題とした『章末問題学びをたしかめよう』が掲載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 巻頭で学習時に必要な3ステップが示され、『身のまわりの問題を、数学を活用して解決するときの考え方』として『方程式』の利用場面などが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、学習課題に取り組む流れが示され、既習の知識を活用した課題解決を取り上げた問などが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、データを数式や表、グラフで表すことで論理的に考察することを課題とした『リサイクルすると?』などが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『ヒストグラムを観察しよう』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の中に『練習問題』、章の最後に『章末問題』が掲載され、7～8章で構成されている。『みんなで学ぼう』編と、『自分から学ぼう』編の2部構成となっている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> メディアユニバーサルデザイン製品に認定された『MUDマーク』、ユニバーサルデザインフォントを使用している製品として『UDFONTマーク』が表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	数研	書名	日々の学びに数学的な見方・考え方をはたらかせる これからの 数学3 見方・考え方がはたらき、問題解決のチカラが高まる これからの 数学3 探究ノート
1 教育基本法、 学校教育法 及び 学習指導要領 との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『確認問題』、章の最後に『問題A・B』、巻末の『チャレンジ編』に『力をつけよう!』『力をのばそう!』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『いろいろな文字式で表そう』など、『ノートのつくり方』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『降水確率』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育 ビジョンとの 関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『学習の進め方』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『レポートを書こう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学について取り上げた『数学旅行』のコーナーに『暗号と素数』などが掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『Q』や『TRY』が掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『深海の水圧』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『Q』や『TRY』などが掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本独自の数学である『塵劫記』などを例示した、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした『立体の体積と表面積』の問題などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の内容に対応させて示した『中学1年のまとめ』や、高校の学習内容を紹介した『$\sqrt{2}$が無理数であることの証明』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、実生活で使われている情報について紹介した『暗号と素数』や、ICT活用を例示した『ビッグデータ』などが、『数学旅行』のコーナーに掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、考えるヒントになる意見を例示した生徒たちの会話文や、つまづく点などを取り上げた『ふりかえり』が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 学習時に必要な手順が『探究ノート』の書き込み式のワークシートで示され、『比例と反比例』などで実践する課題が掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、日常生活のことがらを題材とした『ごみの減量作戦』などを取り上げた、『TRY』が掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、式と表とグラフを結びつけて、論理的に考察する活動を課題とした『見つけよう』や『調べよう』が掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『きれいなおうぎ形』などが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁 表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後に『確認問題』、章の最後に『問題A・B』が掲載され、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型は本冊、別冊ともにB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人が利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料 I】

※書名の表記は第3学年のものに統一

教科種目名《数学》

※詳細については、資料Ⅱ(数学-8～数学-27)を参照。

発行者の略称	日文	書名	中学数学3
1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連	<p>○「教育基本法(第1条、第2条)及び学校教育法(第49条・第30条2項)に基づき、学習指導要領において示された「資質・能力」の3つの柱で整理された各教科の目標を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>① <input type="checkbox"/> 「知識・技能」の習得について、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『○章の問題』、『とりくんでみよう』、巻末に『補充問題』、『活用の問題』が掲載されている。</p> <p>② <input type="checkbox"/> 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『文字と式』の問題など、『ノートのくふう』が掲載されている。</p> <p>③ <input type="checkbox"/> 「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、社会で数学が活用されている事例を取り上げた『身のまわりの正の数と負の数』など、『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。</p>		
2 かながわ教育ビジョンとの関連	<p>○ 教育目標(めざすべき人間力像)に沿っているか。</p> <p>④ <input type="checkbox"/> 「思いやる力」について、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『数学の学習を始めよう!』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑤ <input type="checkbox"/> 「たくましく生きる力」の「コミュニケーション能力」について、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑥ <input type="checkbox"/> 「社会とかかわる力」の「働くことの大切さ」について、社会で活用されている数学についてのインタビューを取り上げた『数学マイトライ』のコーナーに『数学を仕事に生かす』が掲載されている。</p>		
3 内容と構成	<p>《教科・種目共通の観点》</p> <p>○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑦ <input type="checkbox"/> 主体的・対話的で深い学びについて、話し合う中で課題解決をする活動『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑧ <input type="checkbox"/> カリキュラム・マネジメントについて、教科横断的な学習の課題として技術科と関連した『暗号と素因数分解』など、『暮らしと数学』のコーナーが掲載されている。</p> <p>○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑨ <input type="checkbox"/> 言語能力の育成について、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『平均値の求め方をくふうしよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑩ <input type="checkbox"/> 伝統や文化に関する教育の充実について、日本独自の数学である『小町算』などを例示した、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑪ <input type="checkbox"/> 体験活動の充実について、実際に調べたり、実験を行ったりする活動を課題とした正多面体の特徴を調べる問題などが掲載されている。</p> <p>⑫ <input type="checkbox"/> 学校段階間の円滑な接続について、小学校の学習内容を確認する題材とした『次の章を学ぶ前に』や、高校の学習内容を課題とした『数学のたんけん』が掲載されている。</p> <p>⑬ <input type="checkbox"/> 情報活用能力の育成について、プログラミングの学習を課題とした『素数を求めるプログラムを考えよう』など、『プログラムと数学』が掲載されている。</p> <p>⑭ <input type="checkbox"/> 生徒の学習上の困難さへの対応について、新しい問題の解き方を、既習事項と関連づけて例示した『次の章を学ぶ前に』と『確かめ』が記載されている。</p> <p>○ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。</p> <p>⑮ <input type="checkbox"/> 問題解決の順序を例示した『スタート位置を決めよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>《各教科・種目別の観点》(それぞれの教科・種目の観点は観点-2～5を参照)</p> <p>⑯ <input type="checkbox"/> 基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、問題解決の手順が図や言葉で示された『基石の総数を表す式を求め説明しよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑰ <input type="checkbox"/> 考えを表現して深めることについて、説明したり話し合いしたりする『ポスターの文字の大きさを決めよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>⑱ <input type="checkbox"/> データ処理して問題解決に取り組む工夫について、身近な場面のデータを数理的に処理する活動を課題とした『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。</p>		
4 分量・装丁表記等	<p>⑲ <input type="checkbox"/> 節の最後に『基本の問題』、章の最後に『○章の問題』、『とりくんでみよう』が掲載され、7～8章で構成されている。</p> <p>⑳ <input type="checkbox"/> 判型はB5判が採用されている。</p> <p>㉑ <input type="checkbox"/> 『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。</p>		

【資料Ⅱ】

教科種目名《数学》

1 教育基本法、学校教育法及び学習指導要領との関連

① 生きて働く「知識・技能」を習得するための工夫や配慮	
東書	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題A』『章の問題B』、巻末に各章に対応した問題『補充の問題』が掲載されている。
大日本	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『たしかめよう』、章の最後に『○章を振り返ろう』、巻末に各章に対応した問題『補充問題』が掲載されている。
学図	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『確かめよう』、章の最後に『○章のまとめの問題』、『○年の復習』が掲載されている。
教出	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題』、『学習のまとめ』、巻末に各章に対応した問題『補充の問題』が掲載されている。
啓林館	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の中に『練習問題』、章の最後に『章末問題』、巻末に『もっと練習しよう』が掲載されている。『自分から学ぼう編』に『力をつけよう』が掲載されている。
数研	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『確認問題』、章の最後に『問題A・B』、巻末の『チャレンジ編』に『力をつけよう！』『力をのばそう！』が掲載されている。
日文	「知識・技能」の習得について、全学年とも学習内容の定着を課題とした、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『○章の問題』、『とりくんでみよう』、巻末に『算数の確かめ』、『補充問題』、『活用の問題』が掲載されている。
② 未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」の育成を図るための工夫や配慮	
東書	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『九九表のきまりを見つけよう』など、『数学マイノート』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『数の並びから性質を見つけよう』など、『数学マイノート』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『速算の仕組みを探ろう』など、『数学マイノート』が掲載されている。
大日本	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『みんなの記録と自分の記録を比べよう』など、『ノートの作り方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『数の性質を調べよう』など、『ノートの作り方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『根号をふくむ数の近似値を求める工夫』など、『ノートの作り方』が掲載されている。
学図	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『正の数・負の数』の温度の問題など、『ノートの使い方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『式の計算』の代金の合計の問題など、『ノートの使い方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『式の計算』の面積の問題など、『ノートの使い方』が掲載されている。
教出	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『目標は達成できる？』など、『工夫してノートを書こう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『どんな性質がある？』など、『工夫してノートを書こう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『どんなきまりがある？』など、『工夫してノートを書こう』が掲載されている。
啓林館	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『説明しよう』の『どちらが反比例の関係？』など、『ノートをくふうして、学習に役立てよう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『話し合おう』の連立方程式の問題など、『ノートをくふうして、学習に役立てよう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『まとめよう』の二次方程式の問題など、『ノートをくふうして、学習に役立てよう』が掲載されている。
数研	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『いろいろな文字式で表そう』など、『ノートの作り方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『角の大きさを求めよう。』など、『ノートの作り方』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『1.5秒後のボールの位置を考えよう』など、『ノートの作り方』が掲載されている。
日文	「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第1学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『文字と式』や『正の数と負の数』の問題など、『ノートのくふう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第2学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『式の計算』や『比例』の問題など、『ノートのくふう』が掲載されている。 「思考力・判断力・表現力等」の育成について、第3学年では、課題解決の過程を振り返るノートの作り方を例示した『式の展開と因数分解』や『相似な図形』の問題など、『ノートのくふう』が掲載されている。

③ 学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を涵養するための工夫や配慮

東書	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『デザインにひそむ数学』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『桜の開花日を予想しよう』や『コンビニのデータ活用』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『渋滞学を学んでみよう』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p>
大日本	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『身の回りのマイナス』や『船が安全に進むための工夫』など、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『暮らしに役立つ関数』や『シャッフル再生の不思議』など、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『リレーのバトンパス』や『どうやって認識しているの?』など、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p>
学図	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『米は何粒?』や『当選するには最低何票?』など、『疑問を考えよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『時計の針が重なるのは何時?』や『気温は上がっている?』など、『疑問を考えよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『黄金比って何?』や『放物線はみな相似?』など、『疑問を考えよう』のコーナーが掲載されている。</p>
教出	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『素数ゼミ』や『ランドルト環』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『期待値』や『陸上トラック』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『タイルの枚数』や『大気中の二酸化炭素の濃度』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p>
啓林館	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『おにぎりを売ろう』や『緊急地震速報』など、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『スタートの位置はどこ?』や『料金が安いのは?』など、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『容器をつくろう』や『全身がうつる鏡』など、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p>
数研	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『深海の水圧』や『降水確率』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『温度の単位』や『LED電球はお得?』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『マイクロの世界』や『リレーのバトンパス』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p>
日文	<p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第1学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『身のまわりの正の数と負の数』や『湖面の高さと湖の深さ』など、『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第2学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『雷に気をつけよう』や『勾配』など、『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。</p> <p>「学びに向かう力・人間性等」の涵養について、第3学年では、社会で活用されている数学の課題を取り上げた『過去の標本調査での失敗』や『コンピュータの活用』など、『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。</p>

2 かながわ教育ビジョンとの関連

④ [思いやる力]他者を尊重し、多様性を認め合う、思いやる力を育てる。

(共生、豊かな心、いのちの大切さ、生命の尊厳、人権教育、道徳教育 など)

東書	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『大切にしたい数学の学び方』のコーナーが掲載されている。
大日本	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『解決しよう』の『考えを伝え合おう』や『わかりやすく説明しよう』など、『数学の世界へようこそ』のコーナーが掲載されている。
学図	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『表現する力を身につけよう発表のしかた』など、『さらなる数学へ』のコーナーが掲載されている。
教出	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『話し合うときは…』など、『学習するにあたって』のコーナーが掲載されている。
啓林館	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『話すとき』や『聞くとき』など、『表現する力を身につけよう』のコーナーが掲載されている。
数研	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『説明を聞くときは』や『発表するときは』、『グループで話し合うときは』など、『学習の進め方』のコーナーが掲載されている。
日文	[思いやる力] について、全学年とも、問題解決の過程における他者との話し合い活動での、話し方や聞き方を例示した『話し合うときのポイント』など、『数学の学習を始めよう!』のコーナーが掲載されている。

⑤ [たくましく生きる力] 自立した一人の人間として、社会をたくましく生き抜くことのできる力を育てる。

(公共心、規範意識、責任感、国際化、情報化、食育、健康教育、コミュニケーション能力 など)

東書	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『いろいろな角を作図してみよう』などで『問題をつかむ』、『見通しをたてる』、『問題を解決する』、『ふり返る』、『深める』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『角の大きさを求める方法を考えてみよう』などで『問題をつかむ』、『見通しをたてる』、『問題を解決する』、『ふり返る』、『深める』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『畑に通路をつくろう』などで『問題をつかむ』、『見通しをたてる』、『問題を解決する』、『ふり返る』、『深める』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。</p>
大日本	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした節の導入部『みんなの記録と自分の記録を比べよう』などで『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした節の導入部『富士山八合目の気温を予想してみよう』などで『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした節の導入部『富士山が見える範囲を調べよう』などで『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』などが掲載されている。</p>
学図	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『表現する力を身につけよう』の『ほかの形に挑戦』のレポートを例に『レポートの作成』、『発表のしかた』、『レポート例』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『表現する力を身につけよう』の『2数の差は?』のレポートを例に『レポートの作成』、『発表のしかた』、『レポート例』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『表現する力を身につけよう』の『条件を変えてみると…』のレポートを例に『レポートの作成』、『発表のしかた』、『レポート例』などが掲載されている。</p>
教出	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『Q 目標を達成することはできるのかな?』などで『問題を見いだそう』、『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『友達のことを知ろう』、『みんなで話し合おう』、『深めよう』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『Q どちらの会社に依頼すれば得になるかな?』などで『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『みんなで話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』などが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『Q 自動車を安全に停車させるには?』などで、『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『みんなで話し合おう』、『ふり返ろう』などが掲載されている。</p>
啓林館	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『文字の式』など、『説明しよう』や『話しあおう』が掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『図形の調べ方』など、『説明しよう』や『話しあおう』が掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を課題とした『図形と相似』など、『説明しよう』や『話しあおう』が掲載されている。</p>
数研	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『正四角錐の展開図』のレポートを例に、『テーマを選ぶ』、『アイデアを出す』、『考えを整理する』、『レポートを書く』など、『レポートを書こう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『倍数の見分け方』のレポートを例に、『テーマをさがす』、『資料を集める』、『アイデアを出す』、『考えを整理する』、『レポートを書く』など、『レポートを書こう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『方程式の形と解の個数』のレポートを例に、『テーマをさがす』、『資料を集める』、『アイデアを出す』、『考えを整理する』、『レポートを書く』など、『レポートを書こう』のコーナーが掲載されている。</p>
日文	<p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『平均値の求め方をくふうしよう』などで、『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『多角形の内角の和を求めよう』などで、『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[たくましく生きる力] の「コミュニケーション能力」について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者と伝え合ったりする活動を例示した『どこまで見えるか調べよう』などで、『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。</p>

⑥ [社会とかかわる力]社会とかかわりの中で、自己を成長させ、社会に貢献する力を育てる。

(生きること、働くことの大切さ、自然や人とのふれあい体験、地域貢献活動、ボランティア活動 など)

東書	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学についてのインタビューを取り上げた『デザインにひそむ数学』や『スポーツでもデータ活用』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学についてのインタビューを取り上げた『桜の開花日を予想しよう』や『コンビニのデータ活用』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学についてのインタビューを取り上げた『渋滞学を学んでみよう』など、『学びをひろげよう』のコーナーが掲載されている。</p>
大日本	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学について飛行機のパイロットや防災研究者などのインタビューを取り上げた『社会にリンク 発見!仕事のなかの数学』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学について栄養士や鉄道運行管理者などのインタビューを取り上げた『社会にリンク 発見!仕事のなかの数学』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学について宇宙物理学研究者や製薬会社研究員などのインタビューを取り上げた『社会にリンク 発見!仕事のなかの数学』のコーナーが掲載されている。</p>
学図	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学についてコンピュータサイエンティストのインタビューを取り上げた『数学の力』のコーナーの『~RSA暗号~』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学についてコピーライターのインタビューを取り上げた『数学の力』のコーナーの『数学の発想で見つけた伝え方の法則』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学について独立時計師のインタビューを取り上げた『数学の力』のコーナーの『~ものづくりの哲学~』が掲載されている。</p>
教出	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学について気象予報士やデータアナリストのインタビューを取り上げた『数学の広場』のコーナーの『数学は社会に生きています!』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学について輸送計画担当者のインタビューを取り上げた『数学の広場』のコーナーの『数学は社会に生きています!』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学について都市模型製作者のインタビューを取り上げた『数学の広場』のコーナーの『数学は社会に生きています!』が掲載されている。</p>
啓林館	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学について『一回転焼きができるまで』を取り上げた『学びをいかそう』のコーナーの『社会見学に行こう』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学について『一明太子ができるまで』を取り上げた『学びをいかそう』のコーナーの『社会見学に行こう』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学について『一教科書ができるまで』を取り上げた『学びをいかそう』のコーナーの『社会見学に行こう』が掲載されている。</p>
数研	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学について『暗号と素数』や『深海の水圧』、『地球温暖化問題』などを取り上げた『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学について『温度の単位』や『LED電球はお得?』、『ビッグデータ』などを取り上げた『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学について『ミクロの世界』や『選挙速報』、『曲尺と数学』などを取り上げた『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p>
日文	<p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第1学年では、社会で活用される数学についてデータアナリストのインタビューを取り上げた巻末の『数学マイトライ』のコーナーの『数学を仕事に生かす データから導き出す問題解決の糸口』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第2学年では、社会で活用される数学についてエンジニアのインタビューを取り上げた巻末の『数学マイトライ』のコーナーの『数学を仕事に生かす 数学で身につける予測する力』が掲載されている。</p> <p>[社会とかかわる力]の「働くことの大切さ」について、第3学年では、社会で活用される数学についてアーティストのインタビューを取り上げた巻末の『数学マイトライ』のコーナーの『数学を仕事に生かす 数学から見えるデザインの可能性』が掲載されている。</p>

3 内容と構成

○ 中学校学習指導要領(平成29年告示)の改訂の要点を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑦ 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた学習活動に資する工夫や配慮	
東書	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動『深い学び』のコーナーで『棒の本数を求めてみよう』や『交代の時間は何分?』などが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動『深い学び』のコーナーで『数の並びから性質を見つけよう』や『飲み物はいつまで冷たく保てる?』などが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動『深い学び』のコーナーで『速算のしくみを探ろう』や『四角形の各辺の中点を結んだ図形は?』などが掲載されている。
大日本	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動『みんなの記録と自分の記録を比べよう』や『ドッジボール大会の休憩時間は?』などの『解決しよう』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動『スタートラインを決めよう』や『筑波山で歩いた道のりを求めよう』などの『解決しよう』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動『式を利用して数の性質を調べよう』や『コピーで拡大するときの倍率を調べよう』などの『解決しよう』が掲載されている。
学図	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動『正の数・負の数の利用』や『文字式の利用』などの『Q』で『数学的活動』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動『式の利用』や『連立方程式の解き方』などの『Q』で『数学的活動』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動『式の利用』や『平方根の利用』などの『Q』で『数学的活動』が掲載されている。
教出	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動『Q 目標を達成することはできるのかな?』や『Q 板は何枚必要かな?』などが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動『Q どちらの会社に依頼すれば得になるかな?』や『Q どの出方が起こりやすいか調べてみよう』などが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動『Q 整数の性質を調べてみよう』や『Q 自動車を安全に停車させるには?』などが掲載されている。
啓林館	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、既習内容から考えて数直線を使って数を表す説明をさせる『説明しよう』や節の導入部に『どんな数を求める計算かな?』などで『話しあおう』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、既習内容から考えて誤答例について説明をさせる『説明しよう』や節の導入部に『どんな数になるかな?』などで『話しあおう』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、既習内容から考えて数直線をグラフの特徴の説明をさせる『説明しよう』や節の導入部に『変化の様子は?』などで『話しあおう』が掲載されている。
数研	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、『平均値と負の数』や『1次式のまとめ方』などで、『Q』や『TRY』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、『数に関するいろいろな性質』や『多角形の外角の和』などで、『Q』や『TRY』が掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動として、『直角三角形の辺に関する性質を見つけよう』の『Q』や『関数 $y=ax^2$ のグラフ』の『TRY』などが掲載されている。
日文	主体的・対話的で深い学びについて、第1学年では、話し合う中で課題解決をする活動『平均値の求め方をくふうしよう』や『基石の総数を表す式を求め説明しよう』などの『学び合おう』のコーナーが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第2学年では、話し合う中で課題解決をする活動『スタート位置を決めよう』や『総費用で比べよう』などの『学び合おう』のコーナーが掲載されている。 主体的・対話的で深い学びについて、第3学年では、話し合う中で課題解決をする活動『数の性質を見だし証明しよう』や『自動車が止まるまでの距離を考えよう』などの『学び合おう』のコーナーが掲載されている。

⑧ 他教科との関連等、カリキュラム・マネジメントに資する工夫や配慮

(教科等横断的に学習を展開する上での工夫や配慮、中学校3年間や義務教育学校9年間の学びのつながりや系統性、基礎的な学習と発展的な学習との明確な区分けなど、生徒が学習を進めたり教員が指導計画を立てたりしやすいような工夫や配慮など)

東書	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として技術・家庭科と関連した『日本の伝統模様』や、理科・保健体育科と関連した『自動車の死角を考えよう』などが掲載され、『教科関連マーク』が示されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として技術・家庭科と関連した『特別な平行四辺形の利用』や、英語科と関連した『日本と海外の単位の違い』などが掲載され、『教科関連マーク』が示されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『球が斜面を転がる場面』や、美術科と関連した『黄金比』などが掲載され、『教科関連マーク』が示されている。</p>
大日本	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として美術科と関連した『ヒンメリを作ろう』や、理科と関連した『震源から何km離れているかな』などが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として保健体育科と関連した『どんな運動をどれくらい行えばいい?』や、社会科と関連した『友好都市の気温を比べると…』などが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として技術・家庭科(家庭分野)と関連した『パスタメジャーを作ろう』や、理科と関連した『マグニチュードと地震のエネルギー』などが掲載されている。</p>
学図	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として社会科と関連した『時刻がもどる?』や『人口ピラミッド』など、『深めよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として保健体育科と関連した『陸上競技のトラック』や、社会科と関連した『雨が多いのは?少ないのは?』など、『深めよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として美術科と関連した『デッサンと相似』や、理科と関連した『スピードと停止距離の関係は?』など、『深めよう』のコーナーが掲載されている。</p>
教出	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『素数ゼミ』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。社会科に関連した『時差は何時間かな?』など、『学んだことを活用しよう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として社会科、技術・家庭科(家庭分野)と関連した『スロープの勾配』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。保健体育科に関連した『目標を達成するための走り方を考えよう』などが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として理科に関連した『自動車を安全に停車させるには?』や、『ガリレオ・ガリレイの実験』など、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p>
啓林館	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として社会科と関連した『何時に電話しようかな?』など、『自分から学ぼう編』に『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として保健体育科に関連した『スタートの位置はどこ?』など、『自分から学ぼう編』に『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『全身がうつる鏡』など、『自分から学ぼう編』に『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p>
数研	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として技術・家庭科(技術分野)と関連した『暗号と素数』や、理科と関連した『深海の水圧』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『温度の単位』や、社会科と関連した『ビッグデータ』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『皆既日食と金環日食』など、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p>
日文	<p>カリキュラム・マネジメントについて、第1学年では、教科横断的な学習の課題として技術・家庭科(技術分野)と関連した『暗号と素因数分解』など、『暮らしと数学』のコーナーが掲載されている。理科と関連した『地震のP波とS波』など、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第2学年では、教科横断的な学習の課題として社会科、技術・家庭科(家庭分野)と関連した『勾配』など、『数学のたんけん』のコーナーが掲載されている。理科と関連した『食塩水の濃度』など、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p> <p>カリキュラム・マネジメントについて、第3学年では、教科横断的な学習の課題として理科と関連した『風の力』など、『暮らしと数学』のコーナーが掲載されている。社会科に関連した『縮図の活用』の『Q』などが掲載されている。</p>

○ 学習指導要領の改訂における教育内容の主な改善事項等を踏まえた工夫や配慮がなされているか。

⑨ 言語能力の確実な育成	
東書	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『身長を平均をくふうして求めてみよう』や『棒の本数を求めてみよう』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『数の並びから性質を見つけよう』や『ケーキとプリンを何個買う?』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『速算のしくみを探ろう』や『コピー用紙はどんな長方形?』など、『深い学び』のコーナーが掲載されている。
大日本	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『みんなの記録と自分の記録を比べよう』や『ドッジボール大会の休憩時間は?』などが掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『スタートラインを決めよう』や『筑波山で歩いた道のりを求めよう』などが掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『式を利用して数の性質を調べよう』や『コピーで拡大するときの倍率を調べよう』などが掲載されている。
学図	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『正の数・負の数の利用』や『文字式の利用』などの『Q』が掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『式の利用』や『連立方程式の解き方』などの『Q』が掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『式の利用』や『平方根の利用』などの『Q』が掲載されている。
教出	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『正の数・負の数の活用』や『文字を使った式の活用』などの『Q』が掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『1次関数の活用』や『いろいろな確率』などの『Q』が掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『式の活用』や『関数 $y=ax^2$ の活用』などの『Q』が掲載されている。
啓林館	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『絶対値と数の大小』の『説明しよう』や『どんな数を求める計算かな?』の『話しあおう』などが掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『式の加法、減法』の『説明しよう』や『どんな数になるかな?』の『話しあおう』などが掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『関数 $y=ax^2$ のグラフ』の『説明しよう』や『変化の様子は?』の『話しあおう』などが掲載されている。
数研	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題として、『平均値と負の数』や『1次式のまとめ方』などで、『Q』や『TRY』が掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題として、『数に関するいろいろな性質』や『多角形の外角の和』などで、『Q』や『TRY』が掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題として、『直角三角形の辺に関する性質を見つけよう』の『Q』や『関数 $y=ax^2$ のグラフ』の『TRY』などが掲載されている。
日文	言語能力の育成について、第1学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『平均値の求め方をくふうしよう』や『基石の総数を表す式を求め説明しよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。 言語能力の育成について、第2学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『スタート位置を決めよう』や『総費用で比べよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。 言語能力の育成について、第3学年では、自分の考えを説明したり、他者の考えを聞いたりする活動を課題とした『数の性質を見だし証明しよう』や『自動車が止まるまでの距離を考えよう』など、『学び合おう』のコーナーが掲載されている。

⑩ 伝統や文化に関する教育の充実

東書	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の伝統模様の『青海波』や日本独自の数学である『小町算』などを例示した、『数学のまど』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、古くから将棋の先手を決める方法の『振り駒』を例示した、『数学のまど』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、日本の伝統的な楽器の鼓をイメージして作られた『金沢駅の鼓門』を例示した、『平方根の活用』の問題や、江戸時代の数学書『塵劫記』の問題を例示した、『三平方の問題』が掲載されている。</p>
大日本	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本の伝統工芸品の『万華鏡の模様見え方を考えよう』や、『手まりの模様の秘密』などを例示した、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、室町時代の遊びである『さっさ立てに挑戦しよう』や、鶴亀算の起源とされる『雉兎同籠』などを例示した、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、日本独自の数学である『和算』を取り上げた『江戸時代に数学が流行！？』や、万葉集などで使われる言葉遊びを取り上げた『日本の言葉と数』などを例示した、『MATHFUL』のコーナーが掲載されている。</p>
学図	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本独自の数学である『和算』などを例示した、『数学の歴史の話』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、日本独自の数学である『鶴亀算』を例示した『数学の歴史の話』のコーナーが掲載されている。日本の伝統模様の『青海波文様』や『業平格子文様』、日本の伝統工芸品の『箱根寄木細工』などを例示した、『数学見つけた！！』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、伊能忠敬の測量法を題材にした『日本地図を最初につくった人物』などを例示した、『数学の歴史の話』のコーナーが掲載されている。</p>
教出	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本独自の数学である『薬師算』や『算法新書』などを例示した、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、三浦公亮博士が考案した『ミウラ折り』を例示した、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、大工道具の1つの『さしがね』を例示した、『数学の広場』のコーナーが掲載されている。また、日本独自の数学である『和算』や自作の問題を絵馬に書いて奉納する『算額』を例示した、『和算と算額』が掲載されている。</p>
啓林館	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本古来の数学に影響を残した中国の数学書『九章算術』や日本の伝統模様の『市松模様』などを例示した、『数学ライブラリー』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、三浦公亮博士が考案した『ミウラ折り』や室町時代の遊びである『さっさ立て』などを例示した、『数学ライブラリー』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、大工道具の1つの『大矩』などを例示した、『数学ライブラリー』のコーナーが掲載されている。大工道具の1つの『曲尺』などを例示した、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』のコーナーが掲載されている。</p>
数研	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本独自の数学である『塵劫記』などを例示した、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。世界遺産である『平等院鳳凰堂』が、『平面図形の対称な図形』の導入に掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、日本に古来からある『ししおどしの竹筒の傾き』が、『1次関数』の導入に掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、日本独自の数学である『和算』などを例示した、『数学旅行』のコーナーが掲載されている。</p>
日文	<p>伝統や文化に関する教育の充実について、第1学年では、日本独自の数学である『小町算』などを例示した、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第2学年では、室町時代の遊びである『さっさ立て』などを例示した、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p> <p>伝統や文化に関する教育の充実について、第3学年では、日本独自の数学である『和算』などを例示した、『数学研究室』のコーナーが掲載されている。</p>

⑪ 体験活動の充実

東書	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『空間図形』の『いろいろな立体』では、具体物を使って、正多面体の立体模型を作ることで、面の数や辺の数などの正多面体の特徴を実際に確かめることについて掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『確率』の『くじを先にひく？あとにひく？』では、具体物を使って、3枚のうち1枚のあたりを3人が順番にひき、順番でくじのあたりやすさが関係ないことを体験的に学習することについて掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、『三平方の定理を活用しよう』では、具体物を使って、2つの正方形の面積が1つの正方形の面積にぴったり並べることができ、三平方の定理が視覚的に掲載されている。</p>
大日本	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『データの分析』では、付録に掲載されている具体物を使って、一人ひとりの10mの長さの感覚について実験的に学ぶとともに、学級でのデータという生のデータを収集しヒストグラムを学ぶことについて掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『平行と合同』では、アーガイルチェックの模様を観察したり、実際にかいて作ったり特徴を見つめたりすることで、模様には隠れている図形と角について、気づいたことを話し合う活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、『多項式』の『因数分解』では、付録に掲載されている具体物である四角形を、隙間なく並べてできる長方形で表すことにより、因数分解を図式化できる活動が掲載されている。</p>
学図	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『加法・減法』の学習の導入で、巻末の付録のカードゲームを行い、正の数、負の数のたし算を考えていくことが取り上げられている。『図形の計量』で角錐の体積において、立方体を切断した模型を組み立てる体験活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『確率』の学習の導入で、巻末の付録を用いて、サイコロを作り、実験できる活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、『相似な図形』の導入では、大きさを変えても形が変わらないことを、輪ゴムを使って絵を描く作業を通して確認できる体験活動が掲載されている。『三平方の定理』の導入で、巻末の付録を使いどんなことがわかるか調べることが取り上げられている。</p>
教出	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『基本の作図』の導入で、巻末の付録を利用して、宝が隠された場所をさがすことが取り上げられている。『空間図形』の『立体の体積と表面積』では、巻末の付録を使うことで視覚的に学習することができる活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『確率』の導入ではサイコロを実際に投げて、出た回数を調べることができる活動が掲載されている。また、付録のカードを用いてどの出方が起こりやすいかを調べる体験活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、『円』の『数学の広場』では、大工道具のさしがねを用いて円の中心を求める方法を、三角定規を用いて取り組むことで円の中心を求めることができる活動が掲載されている。『三平方の定理』の学習の導入で、巻末の付録を使って、実際に確認する題材が取り上げられている。</p>
啓林館	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『ゆっくり落ちる紙の形や大きさは？』において、どのようにすれば紙ふぶきの滞空時間が長くなるのかを調べる体験活動が掲載されている。『データを活用して、問題を解決しよう』において、大きさの違う正方形の紙の特徴や傾向を調べていくことが取り上げられている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『折り紙で正三角形をつくろう』において、正三角形になることを確かめることが取り上げられている。『証明といえるかな？』では、コンパスを用いて、証明を考える体験活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、『平方根』の学習の導入で、教科書の方眼を使って、いろいろな大きさの正方形を描き、面積を求めていくことが取り上げられている。『ストリングアートの中にきまりをさがしてみよう』では、円周角の定理を発見する体験活動が掲載されている。</p>
数研	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『作図の基本』では、作図の要領で宝が隠された場所をさがす体験活動が掲載されている。『立体の体積と表面積』において、巻末の付録を使って立体の模型をつくって角錐と角柱の体積の関係を調べられることが取り上げられている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『紙テープを折ってできる三角形』では、紙テープを1回折り返し、重なった部分に二等辺三角形ができる理由を考える体験活動が掲載されている。『確率』において、巻末の付録を使い、スクラッチくじの出方についての起こりやすさを調べる問が取り上げられている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、三平方の定理において、定理が成り立つ理由を視覚的に判断する材料として体験活動が掲載されている。また、巻末の付録を使って、三平方の定理の証明パズルをどのように並べかえたか証明してみることが取り上げられている。</p>
日文	<p>体験活動の充実について、第1学年では、『平面図形』の導入において、『麻の葉模様』がどんな図形で敷き詰められているのかを考える内容が掲載されている。巻末付録を用いて、正多面体の特徴を調べる体験活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第2学年では、『三角形と四角形』の導入において、二等辺三角形の作図を紹介しており、実際に取り組むことで作図が正しいことを知る内容が掲載されている。『猛暑日が多いのはどこ？』で、データを整理して特徴を考える体験活動が掲載されている。</p> <p>体験活動の充実について、第3学年では、巻末付録を用いて組み合わせてできた1つの長方形から因数分解のしくみを学ぶ体験活動が掲載されている。『相似な図形』の『縮図の活用』において、東京の地図を用いて、縮図を活用し、直接測ることができない距離や高さを求めることができる体験活動が掲載されている。</p>

⑫ 学校段階間の円滑な接続

東書	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『算数から数学へ』では、導入で九九表を扱い、小学校の既習内容を振り返ることが掲載されている。また、素数の学習とつなげ、九九表から規則性を考察する展開が掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『平行線と角』では、三角形の内角の和が180度であることを小学校の実験や実測により調べる方法が掲載されている。『ちょっと確認算数』が設けられ、内容に係る算数の既習事項が記載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『根号をふくむ式のいろいろな計算』の『いろいろな数の分母の有理化』では、多項式の分母の有理化を発展的な学習として高校の内容を取り上げられている。</p>
大日本	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『小学校算数のふり返り』において、1年次の学習に関連する小学校で学習した内容が記載されていて、学習内容にも関連して『思い出そう』というマークで小学校で学んだことが記載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、学習内容に関連して『思い出そう』というマークで前の学年までに学んだことが記載されている。『学びにプラス』では、3つの文字をふくむ連立方程式が掲載しており、高校で学ぶ数学の内容を段階的に学習ができる問題が掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『高校ではどんな数学を学ぶのかな?』では、一次不等式、2次関数、三角比、相関関係の高校で学ぶ数学の内容が、中学校での学習と関連させて紹介されている。</p>
学図	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『ふりかえり』で、小学校で学んだ『整数』や『等号』などの学校で学習した用語や性質をふり返ることができる『文字と式』『文字に当てはまる数』などが掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『ふりかえり』で、小学校で学んだ図形の性質をふり返ることができる『二等辺三角形』『正三角形』『平行四辺形』などが掲載されている。『TeaBreak平均値と外れ値』が設けられ、中学校の内容と関連した高校の内容が取り上げられている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『高校へのかけ橋』では、たすき掛けによる因数分解や頂点の位置が原点ではない二次関数について掲載されており、中学校の学習と関連させて高校数学への見通しが持てる表記がされている。</p>
教出	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『整数の性質を学習する前に』が設けられ、小学校で学習した約数と倍数を復習する問題が取り上げられている。『学びのマップ』では、小学校算数の学習がどのように関連しているのか、領域ごとに分けて一覧で掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『三角形と四角形』の前に小学校第3学年・第4学年で学んだ二等辺三角形と平行四辺形の性質が掲載されている。小学校の確認『確率を学習する前に』が掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『ひろがる数学』では、因数分解の公式を発展させて新しい因数分解の公式を求めたり、平均の速さを発展させて瞬間の速さについて学んだりする学習を掲載しており、中学校3年間で学んだ数学の内容を発展させた高校数学が紹介されている。</p>
啓林館	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『正の数・負の数の利用』において小学校で学習した平均の求め方を復習することができる『ふりかえり算数』が掲載されている。『自分から学ぼう編』の『算数をふりかえろう』において、小学校で学んだ内容を確認できる掲載がされている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『同位角・錯角と平行線』では、小学校で学習した内容を三角定規の作図手順とともに掲載されている。『自分から学ぼう編』で『学びをいかそう』が設けられ、高校で学習する図形と確率の発展的な内容が掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『自分から学ぼう編』の『学びをいかそう』では、二乗に比例する関数を活用して、変化の割合の求め方を公式化する内容や放物線と直線の交点の座標を求める内容などの数学Ⅱで扱う内容が発展問題として扱われている。</p>
数研	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、各章に入る前に、小学校に学んだ内容のうち、中学校1年に関連する『△△の学習の前に』が記載されている。『中学1年のまとめ』が設けられ、中学1年の内容を小学校の内容に対応させて掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『図形の性質と合同』では小学校で学習した三角形の3つの角の和を復習する図が掲載されている。『三角形の合同条件』では、導入として小学校で学習した、三角形をコンパス・分度器を用いて作図する3つの方法が掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『平方根』の『$\sqrt{2}$が無理数であることの証明』では、$\sqrt{2}$が無理数であることを背理法を用いて証明する方法が掲載されており、高校の数学Ⅰの内容が発展的な学習として説明されている。</p>
日文	<p>学校段階間の円滑な接続について、第1学年では、『次の章を学ぶ前に』で各章に入る前に、その章と関連した算数で学習した内容が記載されている。『算数の確かめ』では、小学校で学んだことを確認する内容が中学校での学習順に掲載されている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第2学年では、『データの分布の比較』で、四分位数の説明の際に、新学習指導要領から加わった内容で、小学校で学んだドットプロットや中央値を学び直すことについて表記されている。『数学のたんけん期待値』が設けられ、高校で学習する確率の発展的な内容が取り上げられている。</p> <p>学校段階間の円滑な接続について、第3学年では、『関数のグラフの活用』の『やってみよう』では、放物線と直線の交点の座標について取り上げられており、高校の内容には、『発展/高校数学』と表記してあり、発展的な学習として扱われている。</p>

⑬ 情報活用能力の育成

東書	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『暗号の仕組み』では、大きい数の素因数分解が難しいことを利用した『RSA暗号』と呼ばれる技術が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、コンビニエンスストアの販売数のデータをもとに、ヒストグラムや箱ひげ図を作成する題材が『学びをひろげよう』で掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、標本を無作為に抽出する方法として、コンピューターの表計算ソフトの操作手順が『母集団から標本を取り出す方法について考えてみよう』で紹介されている。</p>
大日本	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『データを正しく活用するには』において、折れ線グラフやヒストグラムを利用した内容は『生活の中にあふれるグラフを読むときには注意が必要だ』と記載され、正しく活用する方法が示されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『MATHFUL』の『関数を使って予想しよう』では、過去の平均気温と桜の開花日の関係から桜の開花予想日を割り出す活動が示されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『どうやって認識しているの?』ではICT活用の例として、最近のカメラでの顔認証がどのような構造で行われているかが掲載されている。</p>
学図	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、基石を並べるプログラミングを例に、論理的な思考の大切さやICT活用の重要性を伝える『プログラミングを体験してみよう』が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、星形正五角形をかくプログラミングを例に、論理的な思考の大切さやICT活用の重要性を伝える『プログラミングを体験してみよう』が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、や三平方の定理を用いて斜辺の値を求めるプログラミングを例に、論理的な思考の大切さやICT活用の重要性を伝える『プログラミングを体験してみよう』が掲載されている。</p>
教出	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『数学の広場』では、サッカーの分析をしている話を取り上げられており、情報を集め分析し、戦略を立てる際の考え方が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『数学の広場』では、列車の輸送計画に携わっている話を取り上げられており、情報を集め分析し、運行計画を立てる際の考え方が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『標本調査とデータ活用』では、標本と無作為抽出する方法の一つとして、コンピューターの表計算ソフトを利用する方法が取り上げられている。</p>
啓林館	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『自分から学ぼう編』の『学びを生かそう』、『プログラミングで模様をつくろう』では、プログラミングを段階的に学習する問題が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『自分から学ぼう編』の『学びを生かそう』、『プログラミングで数を並べかえよう』では、プログラミングを段階的に学習する問題が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『標本調査とデータ活用』では、標本と無作為抽出する方法の一つとして、コンピューターの表計算ソフトを利用する方法が取り上げられている。</p>
数研	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『数学旅行』の『暗号と素数』では、インターネットにおける個人情報やカード情報などのデータのやり取りで使われている暗号が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『数学旅行』の『ビッグデータ』では、ICT活用の例としてビッグデータがどのような場面で利用されているか調べる問題が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『母集団と標本』の『やってみよう』では、標本と無作為抽出する方法の一つとして、コンピューターの表計算ソフトを利用する方法が取り上げられている。</p>
日文	<p>情報活用能力の育成について、第1学年では、『プログラミングと数学』の『素数を求めるプログラムを考えよう』では、『Scratch』を用いたプログラミング活動が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第2学年では、『プログラミングと数学』の『星形正多角形のプログラムを考えよう』では、『Scratch』を用いたプログラミング活動が掲載されている。</p> <p>情報活用能力の育成について、第3学年では、『プログラミングと数学』の『フラクタル図形のプログラムを考えよう』では、『Scratch』を用いたプログラミング活動が掲載されている。</p>

⑭ 生徒の学習上の困難さに応じた工夫

東書	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、『負の数をふくめた数直線をつくってみよう』などで、学習のめあてが示されている。例と似た型の問題に『◆』がついており、例を理解してから、他の問題に取り組む設定がされている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、『単項式の乗法や除法について考えてみよう』などで、学習のめあてが示されている。例と似た型の問題に『◆』がついており、例を理解してから、他の問題に取り組む設定がされている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、『いろいろな式の展開を考えてみよう』などで、学習のめあてが示されている。例と似た型の問題に『◆』がついており、例を理解してから、他の問題に取り組む設定がされている。</p>
大日本	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、『たしかめよう』では、その問題を学習したページが記載され、できなかったときに振り返って学習する構成にされている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、『たしかめよう』では、その問題を学習したページが記載され、できなかったときに振り返って学習する構成にされている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、『たしかめよう』では、その問題を学習したページが記載され、できなかったときに振り返って学習する構成にされている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p>
学図	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、巻頭の『ノートの使い方』では、ノートの例が提示されている。既習事項などを示した『ふりかえり～算数から数学へ～』が掲載されている。『問』において『正しいかな?』と示し、間違えやすい例が提示されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、既習事項などを示した『ふりかえり』が掲載されている。『問』において『正しいかな?』と示し、間違えやすい例が提示されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、既習事項などを示した『ふりかえり』が掲載されている。『2次方程式』の『因数分解を使った解き方』では、解答の例を掲載しており、ノートを書く際に気をつける点について示されている。</p>
教出	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、つまづきを防ぐ目的で取り上げた『整数の性質を学習する前に』が掲載されている。『たしかめ』において、出題される用語などを確認できる『もどって確認』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、つまづきを防ぐ目的で取り上げた『式の計算を学習する前に』が掲載されている。問において、出題される用語などを確認できる『もどって確認』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、つまづきを防ぐ目的で取り上げた『相似な図形を学習する前に』が掲載されている。例において、出題される用語などを確認できる『もどって確認』や『補充問題』が掲載されている。</p>
啓林館	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、『正の数・負の数』で、数値が1ごと変化しているメモが掲載されている。振り返り学習を課題とした『学びをたしかめよう』が掲載されている。また、それまでの学習内容を確認する質問が設けられている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、『連立方程式』で、小学校での既習内容(時間を求める式)のメモが掲載されている。振り返り学習を課題とした『学びをたしかめよう』が掲載されている。また、それまでの学習内容を確認する質問が設けられている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、『図形と相似』では、線分の比の約分法のメモが掲載されている。振り返り学習を課題とした『学びをたしかめよう』が掲載されている。また、それまでの学習内容を確認する質問が設けられている。</p>
数研	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、『比例と反比例』の比例式の求め方では、生徒と先生の会話で自分の考えを整理することができる『例題』が掲載されている。章の学習前や用語の振り返りとして『ふりかえり』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、『1次関数』の『1次関数の式の求め方』では、生徒と先生の会話で自分の考えを整理することができる『例題』が掲載されている。章の学習前や用語の振り返りとして『ふりかえり』が掲載されている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、『平方根』の平方根の近似値では、自主学習の例が掲載されている。また、側注には、違う考え方も掲載されている。章の学習前や用語の振り返りとして『ふりかえり』が掲載されている。</p>
日文	<p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第1学年では、『データの活用』の章に入る前に、小学校で学習した関連する学習のまとめが掲載されており、既習内容を確認してから学習に進む構成にされている。『次の章を学ぶ前に』でこれから学ぶ内容と関連した問題が設けられている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第2学年では、『連立方程式』の速さの問題では、導入に掲載されている『確かめよう』で、既習事項の確認をして、これからの学習について掲載がされている。『次の章を学ぶ前に』でこれから学ぶ内容と関連した問題が設けられている。</p> <p>生徒の学習上の困難さへの対応について、第3学年では、『関数$y=ax^2$』の『関数のグラフの活用』では、生徒の吹き出しの中で第2学年で学習した内容がグラフとともに掲載されている。『次の章を学ぶ前に』でこれから学ぶ内容と関連した問題が設けられている。</p>

⑮ 生徒にとって分かりやすく理解が深まるような構成上の工夫や配慮がなされているか。

東書	<p>第1学年では、『深い学び』のコーナーの『身長平均をくふうして求めてみよう』などで『問題をつかむ』、『見通しを立てる』、『解決する』、『ふり返る』、『深める』の流れが示されている。</p> <p>第2学年では、『深い学び』のコーナーの『数の並びから性質を見つけよう』などで『問題をつかむ』、『見通しを立てる』、『解決する』、『ふり返る』、『深める』の流れが示されている。</p> <p>第3学年では、『深い学び』のコーナーの『速算のしくみを探ろう』などで『問題をつかむ』、『見通しを立てる』、『解決する』、『ふり返る』、『深める』の流れが示されている。</p>
大日本	<p>第1学年では、巻頭で学習時の問題発見、問題解決の流れを示され『75°の角度をつくろう』の題材で実際に、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の流れで取り組むことについて掲載されている。</p> <p>第2学年では、巻頭で学習時の問題発見、問題解決の流れを示され『スタートラインを決めよう』の題材で実際に、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の流れで取り組むことについて掲載されている。</p> <p>第3学年では、巻頭で学習時の問題発見、問題解決の流れを示され『校舎の高さを調べる方法を考えよう』の題材で実際に、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の流れで取り組むことについて掲載されている。</p>
学図	<p>第1学年では、『文字式の利用』において、『問題を見つけよう』、『文字式で表そう』、『いくつかの式をまとめて考えよう』、『新たな問題を見つけよう』、『文字式で表そう』、『まとめよう』と学習の流れが記載されている。</p> <p>第2学年では、『くじ引き』において、『問題を見つけよう』、『予想しよう』、『いろいろな方法で考えよう』、『まとめよう』、『条件を変えて考えよう』、『話し合おう』、『条件を変えて考えよう』と学習の流れが記載されている。</p> <p>第3学年では、『短距離走の問題』において、『問題を見つけよう』、『表を使って考えよう』、『グラフを使って考えよう』、『新たな問題を見つけよう』と学習の流れが記載されている。</p>
教出	<p>第1学年では、『文字を使った式の活用』で、『問題を見いだそう』、『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『友だちの考えを知ろう』、『みんなで話し合おう』、『学習をふり返ろう』、『深めよう』や学習のプロセスが示されている。</p> <p>第2学年では、『平行と合同』の題材『Q 角の大きさの求め方を考えよう』で、『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『友だちの考えを知ろう』、『学習をふり返ろう』、『深めよう』や学習のプロセスが示されている。</p> <p>第3学年では、『式の活用』の題材『Q 整数の性質を調べてみよう』で、『問題をつかもう』、『自分の考えをもとう』、『友だちの考えを知ろう』、『みんなで話し合おう』、『深めよう』や学習のプロセスが示されている。</p>
啓林館	<p>第1学年では、『方程式の利用』で『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』の3ステップの考え方で取り組むことについて掲載されている。</p> <p>第2学年では、『一次関数の利用』で『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』の3ステップの考え方で取り組むことについて掲載されている。</p> <p>第3学年では、『いろいろな事象と関数』で『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』の3ステップの考え方で取り組むことについて掲載されている。</p>
数研	<p>第1学年では、『比例と反比例』の章とびらでは、京都のバスの移動方法についてどのような変化をしたのか考えさせ、比例と反比例の考え方について掲載されている。『探究ノート』で書き込み式のワークシートが付されている。</p> <p>第2学年では、『三角形と四角形』の章とびらでは、どんな共通点があるか考えさせ、二等辺三角形の性質について掲載されている。『探究ノート』で書き込み式のワークシートが付されている。</p> <p>第3学年では、『相似』の章とびらでは、『拡大・縮小されたもの』というテーマで画像が掲載されている。『探究ノート』で書き込み式のワークシートが付されている。</p>
日文	<p>第1学年では、『学び合おう』のコーナーの『平均値の求め方をくふうしよう』などで『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』の流れが示されている。</p> <p>第2学年では、『学び合おう』のコーナーの『スタート位置を決めよう』などで『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』の流れが示されている。</p> <p>第3学年では、『学び合おう』のコーナーの『数の性質を見いだし証明しよう』などで『見通しをもとう』、『考えよう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』の流れが示されている。</p>

⑩ 数学的活動を通して、基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫や配慮がなされているか。

東書	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『比例と反比例の利用』の『Q考えてみよう』では、学校行事を題材とし、課題解決の中で必要となる知識及び技能を身に付ける活動が掲載されている。例題の類題には◆のマークがあり、問題の類題ページも記載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『文字式の利用』の『Q調べてみよう』では、『数の性質を説明するには?』を題材にして課題解決の過程で、知識及び技能を図る活動が掲載されている。例題の類題には◆のマークがあり、問題の類題ページも記載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『相似な図形』の『Q調べてみよう』では、日常生活にある経験『どのように拡大されているかな?』を題材にして、課題解決の中で必要となる知識及び技能を身に付ける活動が掲載されている。例題の類題には◆のマークがあり、問題の類題ページも記載されている。</p>
大日本	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『文字と式』の『学びにプラス』で問題に対する間違えた解答例が取り上げられ、説明する課題が設けられてる。間違いを正すことでより知識及び技能が身に付く学習が掲載されている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『平行と合同』の『学びにプラス』でくさび形の図形の角度を求める課題を考える学習が設けられており、話し合い活動をする掲載がされている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『相似と比』の『学びにプラス』でノートの罫線を使い、線分を三等分する方法について考える課題において、基礎的な知識及び技能の定着を図る活動が掲載されている。解答付きの類題として『プラス・ワン』や『補充問題』が掲載されている。</p>
学図	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『正の数・負の数の利用』で学校でのことがらを題材とし、生徒同士の会話から自分の考えを整理し、生徒の例をもとに課題解決の活動が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『連立方程式の利用』では、日常生活で活用できることがらを題材とし、生徒同士の会話から自分の考えを整理し、生徒の例をもとに課題解決の活動が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『三平方の定理の利用』で実社会でのことがらを題材にし、生徒同士の会話から自分の考えを整理し、生徒の例をもとに課題解決の活動が掲載されている。</p>
教出	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『Q 目標を達成することはできるのかな?』などで『問題を見出そう』や『問題をつかもう』などの学習のプロセスを意識した学習展開が掲載されている。『たしかめ』や『もどって確認』、『補充問題』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『Q 目標を達成するための走り方を考えよう』などで『自分の考えをもとう』や『友だちの考えを知ろう』などの学習のプロセスを意識した学習展開が掲載されている。『たしかめ』や『もどって確認』、『補充問題』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『Q どのくらい遠くまで見渡すことができるのかな?』などで『問題をつかもう』や『自分の考えをもとう』などの学習のプロセスを意識した学習展開が掲載されている。『たしかめ』や『もどって確認』、『補充問題』が掲載されている。</p>
啓林館	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『正の数・負の数の利用』において大縄跳びの記録の考察を題材に、既習の知識を活用して、『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』と学習の流れが示されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『式の計算』においてカレンダーの特性を題材に、既習の知識を活用して、『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』と学習の流れが示されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『二次方程式』において畑と道の面積を題材に、既習の知識を活用して、『場面の状況を整理し、問題を掲載しよう』、『見通しを立てて、問題を解決しよう』、『問題をひろげたり、深めたりしてみよう』と学習の流れが示されている。</p>
数研	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『文字と式』の文字式の利用法を理解することにおいて日常生活のことがらが題材とされ、ごみの減少量について考える中で生徒同士の会話文をヒントに理解を深められる『TRY』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『平行線と角』の多角形の外角の性質を理解することにおいて三角形、五角形、十角形から規則性を見つける活動が設けられ、生徒同士の会話文をヒントに理解を深められる『TRY』が掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『関数$y=ax^2$』の関数$y=ax^2$の特徴を理解することにおいて、ボールを転がした時の様子について生徒の考えが掲載されており、生徒同士の会話文をヒントに理解を深められる『TRY』が掲載されている。</p>
日文	<p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第1学年では、『基石の総数を表す式を求め説明しよう』において、既習の知識を活用して、『数学の問題にする』、『見通しをもつ』、『自分で考える』、『ふりかえる』、『深める』、『もっと深める』の流れが掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第2学年では、『くじのあたりやすさを調べて説明しよう』において、既習の知識を活用して、『数学の問題にする』、『見通しをもつ』、『自分で考える』、『ふりかえる』、『深める』の流れが掲載されている。</p> <p>基礎的な知識及び技能を身に付けるための工夫について、第3学年では、『どこまで見えるか調べよう』において、既習の知識を活用して、『数学の問題にする』、『見通しをもつ』、『自分で考える』、『ふりかえる』、『深める』、『もっと深める』の流れが掲載されている。</p>

⑰ 言葉や数、式、図、表、グラフなどの数学的な表現を用いて、論理的に考察し、さらにその過程を振り返り、その考えを表現して深めるための工夫や配慮がなされているか。	
東書	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『深い学び』のコーナーの『身長の平均をくふうして求めてみよう』などでグラフや表を用いて説明し、解決を図る一連の学習活動の流れが示されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『深い学び』のコーナーの『数の並びから性質を見つけよう』などでグラフや表を用いて説明し、解決を図る一連の学習活動の流れが示されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『深い学び』のコーナーの『走行時の速さを推測しよう』などでグラフや表を用いて説明し、解決を図る一連の学習活動の流れが示されている。</p>
大日本	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『進行のようすを調べよう』において、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の一連の流れが設けられている。表・グラフ・式を用いて、論理的に考察し、深めていく活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『富士山八合目の気温を予想してみよう』において、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の一連の流れが設けられている。既習事項を基礎知識とし、言葉・図・表を用いて、論理的に考察し、多様な考え方で式化していく活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『停止距離は何mになるだろうか?』において、『問題を見いだそう』、『解決のしかたを探ろう』、『解決しよう』、『深めよう』の一連の流れが設けられている。言葉・表・グラフ・式を用いて、論理的に考察し、深めていく活動が掲載されている。</p>
学図	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『比例と反比例』の章末にある『深めよう』では、震源までの距離と初期微動継続時間の関係を比例を用いて学ぶ課題で、表から数式を求めることにより論理的に考察する学習が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『1次方程式』の章末にある『深めよう』では、ガソリン車とハイブリット車の費用の比較を表とグラフを用いて説明し、どちらの方がお得か、自分の考えを説明する問題が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『三平方の定理』の章末にある『深めよう』では、調べた富士山が見える範囲よりも外に位置してるところから富士山を撮影することができるか考える問題で、図を活用することで、なぜ撮影することができるのか、論理的に考察する学習が掲載されている。</p>
教出	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『板は何枚必要かな?』において、『問題を見いだそう』、『つかもう』、『考えをもとう』、『友だちの考えを知ろう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』の一連の流れが設けられている。論理的に考察し、他者の考え方と比較し深めていく活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『どちらの会社に依頼すれば得になるかな?』において、『問題をつかもう』、『考えをもとう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』、『深めよう』の一連の流れが設けられている。論理的に考察し、表・式・グラフを利用することのよさについて振り返る活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『自動車を安全に停車させるには?』において、『問題をつかもう』、『考えをもとう』、『話し合おう』、『ふり返ろう』の一連の流れが設けられている。論理的に考察し、適切に解決する活動が掲載されている。</p>
啓林館	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『リサイクルすると?』において、問題掲載、見通しを持ち、解決、深める(話し合う)一連の流れが設けられている。言葉・表から論理的に考察し、見通しを立てて問題を解決する活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『ダム貯水量は?』において、問題掲載、見通しを持ち、解決、深める(話し合う)一連の流れが設けられている。言葉・表から論理的に考察し、見通しを立てて問題を解決する活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『自動車の制動距離』において、問題掲載、見通しを持ち、解決、深める(話し合う)一連の流れが設けられている。図・グラフ・表から論理的に考察し、見通しを立てて問題を解決する活動が掲載されている。</p>
数研	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『調べよう』のコーナーの『式と表とグラフ』では、実際にノート作りされている写真が掲載されており、反比例の式と表とグラフが互いにどのような関係になっているか調べる学習が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『見つけよう』のコーナーの『ダイヤグラム』では、ダイヤグラムを活用してグラフから式を求めたり、言葉で説明する課題が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『調べよう』のコーナーの『山の頂上から見渡せる距離』では、富士山の頂上から見渡せる最も遠い位置を求めることについて、事象を図で表し数式を求めることで論理的に考察する問題が掲載されている。</p>
日文	<p>考えを表現して深めることについて、第1学年では、『学び合おう』のコーナーの『ポスターの文字の大きさを決めよう』において、数学的な問題として捉え、見通しを持ち、表やグラフを活用し、話し合い、振り返り、深める一連の流れが示され、論理的に考察し、課題を解決する活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第2学年では、『学び合おう』のコーナーの『総費用で比べよう』において、数学的な問題として捉え、見通しを持ち、表やグラフを活用し、話し合い、振り返り、深める一連の流れが示され、論理的に考察し、課題を解決する活動が掲載されている。</p> <p>考えを表現して深めることについて、第3学年では、『学び合おう』のコーナーの『自動車が止まるまでの距離を考えよう』において、数学的な問題として捉え、見通しを持ち、表やグラフを活用し、話し合い、振り返り、深める一連の流れが示され、論理的に考察し、課題を解決する活動が掲載されている。</p>

⑱ 不確定な事象を取り扱うなかで、目的に応じてデータを収集して処理し、その傾向を読み取って判断するような題材の工夫、批判的に考察し、問題解決に取り組めるような題材の工夫や配慮がなされているか。

東書	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『データの分析と活用』の『章の問題B』では、スケート場の貸出用の靴のサイズについての課題で、『平均値である24.5cmの靴を最も多く買うのは適切ではありません。その理由を下の図をもとに説明しなさい。』という問題が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『データの比較』の箱ひげ図を用いて各商品の販売数の傾向を調べる問題では、自分が調べる内容によって、異なる箱ひげ図が掲載されている。また、『これまで調べたことから』と表記されており、箱ひげ図だけでなく、ヒストグラムや表を用いた学習に取り組む活動が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『標本調査の利用』において、街頭アンケートやインターネット広告の調査方法について適切に判断し、アンケート調査の方法を考え実際に標本調査を行う活動が掲載されている。</p>
大日本	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『データの分析』の都道府県別の学校数についての課題では、自分で都道府県の一つを選び、その都道府県の学校数の傾向を読み取り、代表値を用いて判断する活動が設けられている。また、統計を活用した仕事を紹介されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『データの比較と箱ひげ図』の章とびらでは、同じ月の同じ場所での写真を比べ、今まで学習した平均値と中央値では結果がわからないことをきっかけに、批判的に考察する活動が設けられている。また、統計を活用した仕事を紹介されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『標本調査』の『調査方法や結果の解釈は適正か判断しよう』では、アンケート調査の方法と結果が適正であるかどうかを批判的に考察し、気づいたことを説明する問題が掲載されている。また、統計を活用した仕事を紹介されている。</p>
学図	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『データの活用』の章とびらの『反応の速度はどのくらいかな?』で実験をして、データを収集し、全体のデータから自ら資料の傾向を読み取って判断し、他者と話し合い考えをまとめ、2クラスのどちらが記録が良いか調べる学習が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『データの分析』の章とびらの『雨が多いのは?少ないのは?』で表・グラフ・箱ひげ図を活用して、自分で目的に応じてデータを処理し考察する学習が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『標本調査』の章とびらの『どうやって調べているの?』で視聴率や世論調査、手荷物検査などの調査はどのように行なっているのか、話し合い活動を通して、その傾向を読み取って判断する学習が掲載されている。</p>
教出	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『データの分析』の導入の『Let's Try』のコーナーの『どちらのルートを利用すればよいか?』では、表や棒グラフを用いて、傾向を読み取り、問題解決を図る学習が設けられている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『学んだことを活用しよう』のコーナーの『どの順番で勉強したのかな?』では与えられた条件を根拠に答えを推察する課題が掲載され、表から結果をまとめ、判断する学習が示されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『標本調査』の『章の問題』のコーナーでは、調査の結果を批判的に判断した生徒の理由を説明し、問題解決を図る問題が掲載されている。</p>
啓林館	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『学びをいかそう』の『ヒストグラムを観察しよう』では、データから平均値、中央値、最頻値を求める問題が掲載されており、データを読み取ったり判断したりする際に、どの代表値を使えば良いのか考える活動が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『学びをいかそう』の『代表を決めよう』では、クラスの代表を決める際にデータから代表値を求めて、その傾向を読み取る流れが掲載されている。そして、一度求めた考察を批判的に考察し、さらに学習を深める問題が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『学びをいかそう』の『データを整理するときには?』では、データが提示され、自分が調べたいことに応じて必要な情報を抜き出し、代表値などからその傾向を読み取って、整理する方法を考える問題が掲載されている。</p>
数研	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、別冊『探究ノート』の『きれいなおうぎ形』ではワークシートを使い、きれいと感じるおうぎ形の中心角のデータを集め、処理方法によって分析して傾向を読み取り、批判的に考察ができる掲載がされている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、別冊『探究ノート』の『長さの感覚を調べよう』ではワークシートを使い、長さが10cmだと思ふ線分をひき、その実際の長さのデータを集め、分析して傾向を読み取る活動が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、別冊『探究ノート』の『教科書中の文章の数』では、ワークシートを使い、教科書のページを無作為に抽出し句点の数のデータを集め、文章の総数を推定する活動が掲載されている。</p>
日文	<p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第1学年では、『数学のたんけん』のコーナーの『データを分けて調べてみると』では、与えられたデータを違う見方で分析することで、与えられた結果を批判的に考察し、判断することができる問題が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第2学年では、『深めよう』が示された問で、『例2で求めた確率と同じで5分の2になりますか。ならない場合はその確率を求めましょう。』と記載されており、批判的に考察し判断する問題が掲載されている。</p> <p>データ処理して問題解決に取り組む工夫について、第3学年では、『深めよう』が示された問で、それぞれの説明文は適切であるかどうか考えさせる問題が設けられ、批判的に考察し、問題解決に取り組める掲載がされている。</p>

4 分量・装丁・表記等

①9 各内容の分量とその配分は適切であるか。

東書	全学年とも項ごとに『めあて』、『考えてみよう』や『調べてみよう』、『例』、『問』、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題A・B』が掲載されている。第1、2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。また、巻末に『大切にしたい見方・考え方』、『数学の自由研究』、『補充の問題』、第1学年に『算数の確認』、『1年の確認』、第2学年に『1年の確認』、『2年の確認』、第3学年に『学びのつながり』が掲載されている。
大日本	全学年とも項ごとに『考えよう』、『めあて』、『活動』、『例』や『たしかめ』、『Q』、節の最後に『たしかめよう』、章の最後に『○章を振り返ろう』、『力をのばそう』、『活用・探究』が設けられ、第1、第2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。また、巻末に『もっと数学の世界へ』のコーナーとして『課題学習』、『MATHFUL』、『補充問題』、『総合問題』、第1学年に『小学校算数のふり返り』、第2学年に『1年の復習』、第3学年に『1・2年の復習』が掲載されている。
学図	全学年とも項ごとに『Q』、『目標』、『例』、『問』、『どんなことがわかったかな』、『次の課題へ』、節の最後に『確かめよう』、章の最後に『○章のまとめの問題』が掲載されている。第1、第2学年は7章、第3学年は8章で構成されている。また、巻末に『さらなる数学へ』のコーナーとして『見方・考え方』をまとめよう』、『今の自分を知らろう』、『表現する力を身につけよう』、『疑問を考えよう』、『数学の歴史の話』、第3学年に『高校へのかけ橋』が掲載されている。
教出	全学年とも項ごとに『Q』、『たしかめ』、『例』、『問』、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『章の問題』が掲載されている。第1、第3学年は8章、第2学年は7章で構成されている。また、巻末に『学びのマップ』、『数学の広場』、『学んだことを活用しよう』、『補充問題』、第3学年に『ひろがる数学』、『総合問題』が掲載されている。
啓林館	全学年とも『みんなで学ぼう編』と『自分から学ぼう編』の2部構成で、『みんなで学ぼう編』では、項ごとに『例』、『問』、節の最後に『基本の問題』、章の最後に章末問題『学びをたしかめよう』、『学びを身につけよう』が掲載されている。第1、第2学年は7章、第2学年は8章で構成されている。また、巻末に『もっと練習しよう』、『数学ライブラリー』が掲載されている。『自分から学ぼう編』では、『力をつけよう』、『学びをいかそう』、第1学年に『算数をふりかえろう』が掲載されている。
数研	全学年とも項ごとに『目標』、『Q』、『例』、『問』、『TRY』、『まとめ』、節の最後に『確認問題』、章の最後に『問題A・B』が掲載されている。第1、第2学年は7章、第2学年は8章で構成されている。また、巻末に『数学旅行』、『ぐんぐんのぼそう チャレンジ編』、第1学年に『中学1年のまとめ』、第2学年に『中学2年までのまとめ』、第3学年に『1年・2年の復習』、『中学3年間のまとめ』が掲載されている。別冊に『探究ノート』が付され、本冊の内容から『探究』、『課題学習』が掲載されている。
日文	全学年とも項ごとに『Q』、『めあて』、『例』、『問』、節の最後に『基本の問題』、章の最後に『○章の問題』、『とりくんでみよう』が掲載されている。第1学年は7章、第2学年は6章、第3学年は8章で構成されている。また、巻末に『数学 マイ トライ』のコーナーとして『数学を仕事に生かす』、『暮らしと数学』、『数学研究室』、『プログラムと数学』、『数学レポートを書こう』、『補充問題』、『活用の問題』、第1学年に『算数の確かめ(問題編)』、第2学年に『1年の復習』、第3学年に『総合問題』、『ステップアップ』が掲載されている。

②0 体裁がよく、生徒が使いやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	全学年とも判型はB5判が採用されている。
大日本	全学年とも判型はB5判が採用されている。
学図	全学年とも判型はB5判が採用されている。
教出	全学年とも判型はB5判が採用されている。
啓林館	全学年とも判型はB5判が採用されている。
数研	全学年とも判型は本冊、別冊ともにB5判が採用されている。
日文	全学年とも判型はB5判が採用されている。

⑳ 文章表現や漢字・用語・記号・計量単位・図版等、生徒が読みやすく理解しやすいような工夫や配慮がなされているか。

東書	『全ての生徒の色覚特性に適応するようにデザインしています。』『見やすく、読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
大日本	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』と表記されている。
学図	『誰にでも見やすくわかりやすい教科書になるように、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、色使いやレイアウトなどに配慮して編集しました。』と表記されている。
教出	『色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインに配慮しています。』『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。』と表記されている。
啓林館	メディアユニバーサルデザイン製品に認定された『MUDマーク』、ユニバーサルデザインフォントを使用している製品として『UDFONTマーク』が表記されている。
数研	『この教科書は、ユニバーサルデザインの視点に基づき、より多くの人利用しやすいように配慮しています。』と表記されている。
日文	『見やすく読みまちがえにくいユニバーサルデザインフォントを採用しています。』『カラーユニバーサルデザインに配慮しています。』と表記されている。

【参考】

① 題材に関連した神奈川県に関する文章や写真・グラフ等の掲載

東書	第1学年 21ページ 東京湾アクアライン 風の塔（川崎人工島）、22ページ 三溪園の写真（横浜市）、109ページ 地図（橋本駅）、149ページ 車いすマラソンの写真（横須賀市）、188ページ みなとみらい21の写真（横浜市）、244ページ スケート場の写真（横浜市） 第2学年 11ページ 等々力陸上競技場の写真（川崎市）、94ページ 横浜ランドマークタワーの写真（横浜市）
大日本	第2学年 209ページ 平均気温（横浜） 第3学年 38ページ 横浜マリンタワーの写真（横浜市）
学図	第1学年 76ページ よこはま動物園ズーラシアの写真（横浜市） 第2学年 裏表紙 箱根寄木細工の写真（足柄下郡） 第3学年 256ページ 『富嶽三十六景』神奈川冲浪裏
教出	第1学年 193ページ 根岸森林公園の写真（横浜市）、206ページ 湘南台文化センターの写真（横浜市） 第2学年 60ページ デュアスロン大会の写真（横浜市）、200ページ 都道府県の面積（神奈川県） 第3学年 177ページ 明月院の写真（鎌倉市）、257ページ 『富嶽三十六景』神奈川冲浪裏
啓林館	第1学年 170ページ 東京湾アクアライン「風の塔」の写真（川崎市） 第3学年 190ページ 横浜ランドマークタワーの写真（横浜市）、202ページ 睡眠時間ランキング（神奈川県）
数研	第3学年 表紙裏 よこはまみなとみらい21の写真（横浜市）
日文	第3学年 表紙裏 『富嶽三十六景』神奈川冲浪裏

② URL、二次元コード等の掲載の有無

発行者名	1年	1年 別冊	2年	2年 別冊	3年	3年 別冊
東書	有		有		有	
大日本	有		有		有	
学図	有		有		有	
教出	有		有		有	
啓林館	有		有		有	
数研	有	無	有	無	有	無
日文	有		有		有	

③ 一冊ごとの重量(g)

発行者名	冊数	1年	1年 別冊	2年	2年 別冊	3年	3年 別冊
東書	3	535		424		471	
大日本	3	548		422		510	
学図	3	552		475		540	
教出	3	570		475		515	
啓林館	3	541		433		515	
数研	6	518	97	425	96	519	108
日文	3	548		420		490	